

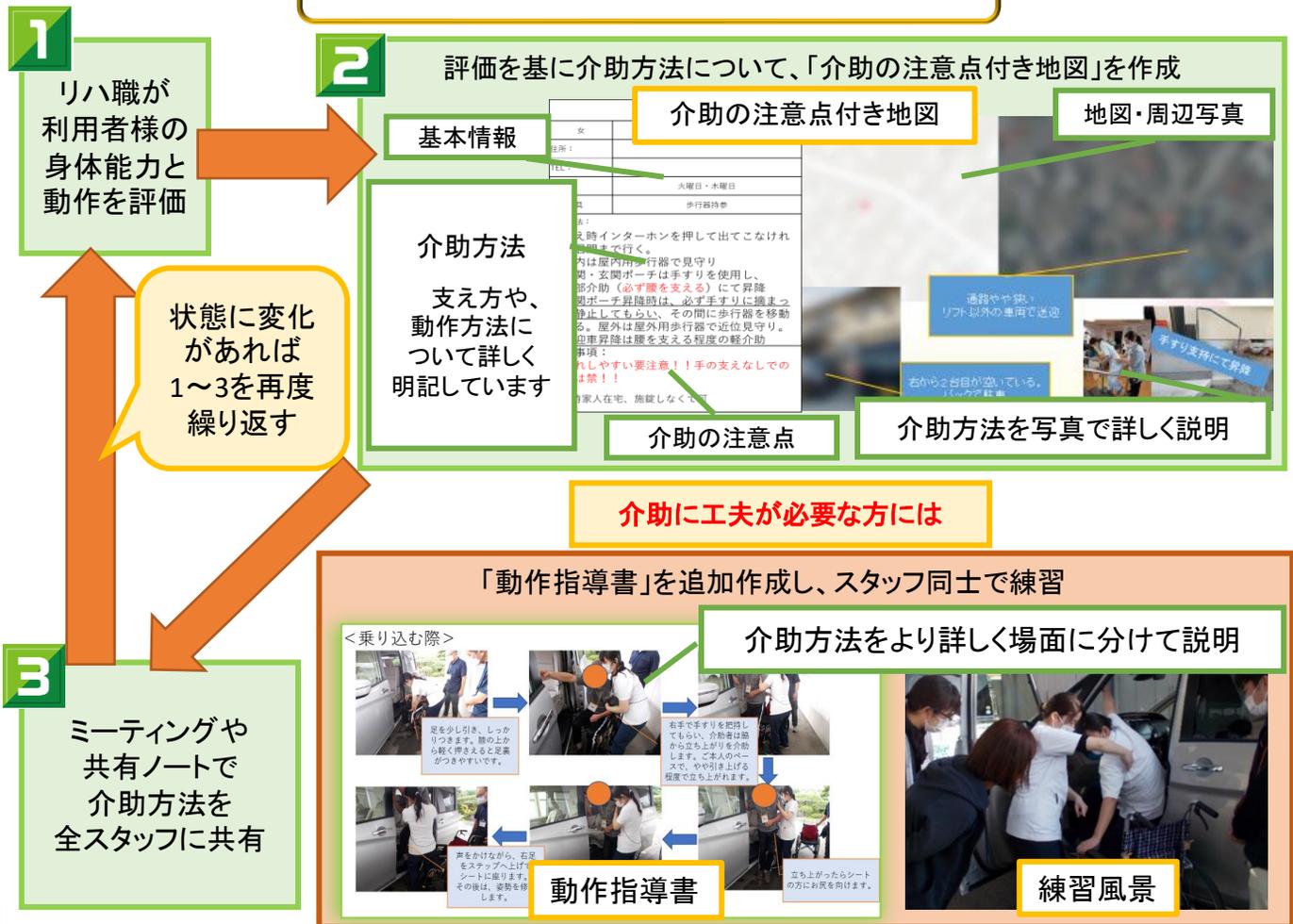


車の乗降方法を多職種で共有

家族との外出や屋外での活動を目標とする方にとって、通所リハの送迎もリハビリテーションの一貫となります。乗降自立に向け、まずは利用者様の能力を最大限に生かした乗降方法で介助することが重要です。このためには、**スタッフ全員が同一の方法で介助**することが大切です。

しかし、スタッフは職種・経験・年齢・体格が様々であり、全員が同一の方法で介助するためには、**介助者に合った工夫が必要**です。スタッフ全員が同一の方法で介助するための取り組みとして、「**介助の注意点付き地図**」と「**動作指導書**」について、共有の流れを紹介します。

送迎車乗降方法、共有の流れ



- ・上記の手順により、毎回同一の方法で車の乗降ができるようにしています。
- ・毎回同一の方法で介助することで、乗降方法が定着し、乗降が自身で出来るようになることで、利用者様の自信につながります。

医療法人 関越中央病院

入院だけでなく外来リハにも対応しております。
主治医にご相談ください。

■施設基準

- 心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ
- 脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅱ
- 廃用症候群リハビリテーション料Ⅱ
- 運動器リハビリテーション料Ⅰ
- 呼吸器リハビリテーション料Ⅰ
- がん患者リハビリテーション料
- 摂食機能療法

心臓リハ部門



主任 理学療法士
津久井亮

病院リハ部門



主任 理学療法士
丸山あすみ

通所リハビリテーション関越中央

1～2時間の短時間通所リハ、6～7時間の長時間通所リハを行っております。
相談員業務をリハ職が行うことにより、利用者様に合わせた最適なプランを提案させていただきます。



主任 理学療法士
狩野和子



主任 理学療法士
田口裕一

訪問リハビリテーション関越中央

病院で急性期リハを学んだ職員が対応することで、心臓・呼吸に問題のある利用者様も安心してご利用頂けます。

空き状況	月	火	水	木	金
短時間型通所リハ 1クール 9:00～10:15	○	△	○	△	○
短時間型通所リハ 2クール 10:30～11:45	△	△	△	△	△
長時間型通所リハ 9:00～15:15	△	○	○	○	△
訪問リハビリ 13:00～17:00	○	○	○	○	△

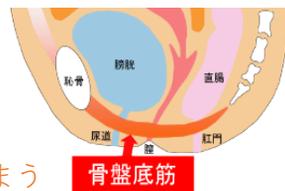
○：受け入れ可能 △：要相談 × 受入困難

〒370-3513 群馬県高崎市北原町71
TEL：027-373-5115（代）FAX：027-372-2829 アドレス：reha@kan-etsu-hospital.com

ひとことコラム 尿漏れに困っていませんか？

60歳以上の高齢者の2人に1人は尿失禁があるとされています。今回は尿漏れ（尿失禁）についてご紹介いたします。尿漏れは大きく分けて以下の5つに分けられます。

- ①腹圧性尿失禁：咳やくしゃみ等、お腹に力が入ったときに尿が漏れてしまう
- ②切迫性尿失禁：急に尿がしたくなり、トイレに間に合わず漏れてしまう
- ③溢流性尿失禁：頻回、または持続的に少しずつ尿が漏れ出てしまう
- ④機能的尿失禁：膀胱尿道機能に関係なく、認知や身体機能の障害で漏らしてしまう
- ⑤反射性尿失禁：脊髄の神経学的異常により、なんら兆候も、尿意もなく尿が漏れることがある



腹圧性尿失禁の軽症例では骨盤底筋の訓練を行う事で、30～40%の割合で症状が消失することが報告されています。①、②、④に当てはまる方は、骨盤底筋等の筋力トレーニングが効果的です。詳しい方法を知りたい方は、リハスタッフまでご相談ください。

参考：EBMIに基づく尿失禁診断ガイドライン：日本医療機能評価機構